

[2月度例会] 日時：2017年2月2日（木） 18：00～20：00

「表流式取水装置：WSSウォータースクリーン装置の紹介」

講師 日本エンジニア株式会社 取締役 営業部長 牛島 聡 氏

1. 開発経緯 表流水取水の方式として、従来技術である取水埋きょ方式（河川の底に有孔管等を埋設）と、バースクリーン等を設けた取水口（堰堤上流側側面に設置）での取水方式を採用されてきたが、河床に埋設した多孔管が閉塞し、洗浄作業を行っても取水量が回復しない。秋になると落葉や小枝で取水口が目詰まりし、頻繁な清掃が必要等の問題点を抱え、「何か良いものはないか」との声を多く聞き、WSSウォータースクリーン装置を開発した。

2. WSSウォータースクリーン装置の仕様 材質は SUS304、取出し口は、全て JIS 5k フランジにて接合。取水能力としては日量（ m^3 ） 50～100、110～200、210～300、310～450、500～700、750～1000、1000～1500 の7機種を標準としている。

3. WSSウォータースクリーン装置の特徴

①「目詰まり」がしにくい・・・独特な構造と特殊スクリーンを用いた背面取水方式を採用し 取水堰堤より越流した河川水で常にスクリーン表面を洗い流しながら取水するので、落ち葉 や土砂による目詰まりが非常に少なく、安定した取水量を確保出来る。

②容易なメンテナンス・・・メンテナンスは年に数回デッキブラシなどでスクリーン表面を 清掃するだけの簡単な作業で済み、水源の維持管理に要する負担が大幅に軽減される。以上 の特徴があり、土砂の流入がなくなり、安定した取水が継続出来ると期待がされている。